

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.324 2017.6.28 連絡先 402-1622 >



厚生常任委員会

私松坂は、今議会より再び厚生委員となりました。今議会の厚生常任委員会での議案は補正予算の1件だけでした。

内容は2つあり、1つは福祉・介護職員の処遇改善加算について、制度周知や広報、システム改修を行うものです。処遇改善加算は事業所が取得するものであり、取得できる事業所とできない事業所では、同じ仕事をしていても給料がちがうことになるため、多くの事業所が取得できるよう、支援をするよう求めました。もう1つは、コミュニティ助成金を活用し、高松地区の連合自治会が行う夏祭り用備品を整備するという事で、どちらも賛成しました。

ほかに、ごみの減量に関して、プラの分別をやめたことの検証について、産業廃棄物最終処分場について、などの資料が提出されました。

森下議員の一般質問

IR誘致そのものがバクチ

森下議員は、2月議会の代表質問に続き、IRについて質問しました。

5月に県がマリーナシティに候補地を絞り、東京で開かれたIRフォーラムに知事と市長が出て事業者にPR。国の有識者会議がカジノに加え、国際会議場、劇場、旅行を促す施設、ホテルの4施設を義務付ける方針を決定すると、知事は要件の緩和を国に要望。日本共産党県委員会と県・市議団は「誘致ストップ」の声明を発表。とこの間の経緯を示し、知事と市長が「外国人専用になれば大丈夫」と、ギャンブル依存症など様々な懸念事項を過小評価し、観光客や税収が増加するとしていることを批判。

森下議員は、国主導で自治体が踊らされ全国的に計画が破たんしたりリゾート法で本市も大赤字を出したと具体的に指摘。

地域経済を一発逆転で何とかできる法はない、人の不幸が生み出すお金で経済や観光を振興させようとする事は、本末転倒だと批判。計画からの撤退を求めました。

ほかに農業振興についても質問しました。

みち子のひとりごと アジサイ

は見ていても、その様子までは見入っていないことに気づかされました。今週の雨で、元気を取り戻すでしょうアジサイを、今度はじっくりと見つめてみたいと思います。



ある方から「雨が少ないから、アジサイの色が悪いね」と人に言われ、そういえばそうだと思っただ、というお話を伺いました。言われてみると、確かに花の色が薄く、元気がないような感じですが、普段、咲いていることは見入っていないことに気づかされました。今週の雨で、元気を取り戻すでしょうアジサイを、今度はじっくりと見つめてみたいと思います。

私はもともと、花の名前を覚えるのが苦手です。どなたからでも、「この花は何て・・・？」と聞かれると、「私に聞かないでください」とお答えすることにしています。それでも、チューリップ、あさがお、ひまわり、カーネーション、つつじなど身近にある花くらいはわかります。あじさいも。

姫田議員の一般質問

公共施設のあり方

つつじが丘テニスコートで開かれた大会に出たときに、駐車場整理の手伝いをしたこと、秋葉山公園の県営プールの駐車場について市民の方から要望があったこと、新しい市民会館や図書館についても駐車場の要望があることや、中央コミュニティセンターの駐車場についてなど、公共施設と駐車場のあり方について、質問しました。

避難場所・指定管理者の役割

熊本地震の際、指定管理者に管理を委託している避難所で、対応に苦労したという報道がありました。横浜市では、市と指定管理者の間で協定が結ばれています。本市での取り組みについて質問しました。災害が起こる前に十分住民に知らせておくことが、トラブルを少なくするうえでも必要です。

人事委員会から、第2回職員採用試験のお知らせが届きましたので紹介します。

第2回 和歌山市職員採用試験

受付 持参8月9日(水) 10日(木)
(午前8:30から午後5:15まで)
郵送8月10日(木)までの消印有効

第1次試験日 9月17日(日)
採用予定日 平成30年4月1日

試験	区分	採用予定人員	
行政職	事務職	3人	
	Ⅲ種	土木職	1人
資格免許職	Ⅰ種	精神保健福祉相談員	1人
	Ⅰ種	保健師	3人
資格免許職	Ⅱ種	保育士	4人
	Ⅱ種	手話通訳員	1人
消防職Ⅲ種		4人	
身体障害者を対象とした行政職事務職		2人	
技能労務職		環境整備員	4人
		保育調理業務員	3人

詳しくは受験案内をご覧ください。
人事委員会事務局 435-1371

共謀罪法

姦(かしま)しいひとら

ひそひそしていたら

共謀係が調べに来たよ

世の中、一般の人(民衆)が殆どである。民衆はいつの世でも権力者の敵である。自公政権が主権在民を無視して作った共謀罪は、民衆が対象であって民衆取締法・国民取締法と呼ぶにふさわしい。

(八十翁)

2017 平和講演会
被爆者の願い、
人類の望み
——核兵器のない世界を

7月8日(土) 午後3時~5時
フラザホール2F
木戸季市氏(日本被団協事務局長)

原爆の被害とは「72年間1日も絶えることなく、いつまでも続いている被害」なのです。2020年のNPT再検討会議に向けて、被爆者のみなさんが初めて核兵器廃絶署名(ヒバクシャ国際署名)を呼びかけました・木戸さんの思いを語っていただきます。

主催：核戦争防止和歌山県医師の会